

多 歯 言

た

は

ごと

第47号

発行:医療法人社団慈篤会
平野歯科医院
発効日:2020年6月4日
HP:<http://hiranodental.com/>

当院で行っている新型コロナウイルス対策のご紹介

先日、非常事態宣言が解除されましたが未だコロナが終息したとは言えない状況です。来院される方の命を守る為に、当院では徹底した新型コロナウイルス感染予防対策を行なっております。2階・4階の待合室に掲示していますが、新しく行なっていることでもありますので改めて紹介致します。

- ① 検温、問診票の記入の徹底
- ② 患者さん毎に滅菌された器具使用の徹底
(切削器具、診査器具、フェスタオル等)
- ③ 患者さん毎にユニットとキャビネット等の完全消毒
- ④ アルコールによる手指消毒の徹底(2F・4F)
- ⑤ 受付(2F・4F)にビニールカーテンシールドを設置
- ⑥ 玄関マットに次亜塩素酸ナトリウム噴霧・床の清掃
- ⑦ 定期的に待合室及び化粧室の消毒および換気(1日5回)
- ⑧ 型取りしたものは全て塩素消毒、模型の加熱処理の再徹底
- ⑨ 滅菌体制に万全を期す為の予約時間の調整と人数制限
- ⑩ 微酸性次亜塩素酸水生成機の使用
- ⑪ 口腔外バキュームの使用
- ⑫ 洗口薬の使用
- ⑬ 全スタッフの毎朝の検温の義務化
- ⑭ 診療スタッフのマスク、ゴーグル、サージカルキャップ、フェイスシールド着用の徹底

新型コロナウイルスの感染が終息するまではまだ半年、もしかすると1年以上かかるとも言われています。風邪は治りはじめが肝心と言われているように、コロナにおいても終息しかけている今が肝心です。当院ではより一層感染予防対策を徹底し、患者さんに安心して治療を受けていただけるように尽力させていただきますので、ご理解ご協力のほど宜しく御願い致します。

皆一丸となって、コロナウイルスに打ち勝ちましょう！

平野哲章



正しい手洗い、うがいをご存知ですか？

正しい手の洗い方

手洗いの前に
 ・爪は短く切っておきましょう
 ・時計や指輪は外しておきましょう



石鹸で洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

○正しい手洗い方法

※画像：厚生労働省

手洗い前に爪は短く切り、時計や指輪は外します。

- ① 流水でよく手をぬらし、石鹸を付け手のひらをよくこすります。
- ② 手の甲を伸ばすようにこすります。
- ③ 指先・爪の間を念入りにこすります。
- ④ 指の間を洗います。
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。
- ⑥ 手首も忘れずに洗います。
- ⑦ 石鹸で洗い終わったら十分に水で流し清潔なペーパータオルでよく拭き乾かします。

指先、親指、指の間、手首、きき手は洗い残しが多くなるので気をつけましょう。



※画像：東京都医学総合研究所

○正しいうがい方法

外から帰ったら直ぐにうがいをして、のどの粘膜に付いたウイルスを洗い流しましょう。うがい薬を使用する事で、のどの殺菌・消毒効果が高まります。

- ① コップ1杯の水を用意し、口に半分くらい含み正面を向いたままブクブクうがいします。
- ② もう一度、水を含み、顔を上に向けて「あー」や「うー」と声を出しガラガラうがいします。
- ③ ガラガラうがいは2～3回、1回15秒ほど行いましょう。

高木直子

口腔ケアで新型コロナウイルス感染予防をしよう

新型コロナウイルスによる肺炎で重症化している方の多くが、ウイルス性肺炎と、口腔内由来の細菌性肺炎による二重の肺炎を引き起こしていると言われています。

初めはウイルス性肺炎との戦いですが、ウイルスに対する免疫システムが壊れて、細菌性肺炎を起こしやすくなります。口腔ケアをしなければ、細菌性肺炎をおこし、数千単位で細菌が急速に増加し、血液に入り体をむしばみます。(サイトカインストームと言います。)

新型コロナウイルスが最初に結合する場所は唾液腺や口腔粘膜、舌にあります。

歯磨き、舌磨きでウイルスにより死滅した細胞と生きたウイルスを除去し、飛沫感染の原因である唾液のウイルスを殺菌力のある洗口剤で常に減らすことが大切です。

かぜやインフルエンザについても、特に歯周病原細菌を減らすことによって、その原因であるウイルスの細胞への付着を阻害できることが明らかになっています。

新型コロナウイルスもインフルエンザウイルスと似た構造様式であるため、適切な口腔ケアは新型コロナウイルスに有効です。

お口の清掃ケアを日頃からきちんと行い感染予防を行いましょう。

適切な歯磨き、舌磨き方法が分からない方、詳しく聞きたい方は、遠慮なくスタッフにお声掛けください。

毎日の口腔ケアが新型コロナウイルスの予防につながるの、みなさん一緒に頑張りましょう！

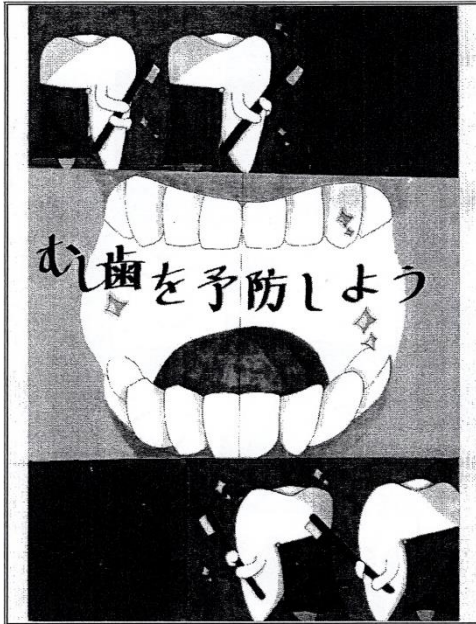
山口大路



当院の患者さんが表彰されました！



当院の患者さんの中藤 玖隆君、佐藤 悠さんが
平塚市主催の歯の衛生についてのコンクールで表彰されました！
おめでとうございます！これからも歯を大事にしましょう！



中藤 玖隆君のポスター

【入選】
口の形が少し変わった？
大原小学校 五年 佐藤 悠

私は最近、少し変わったことがあります。それは、口の辺です。
気が付いたのは、七月半ばで、気が付いた時には、もう、アヒルの口になりかけていました。
まずはじめに、どうしてこんな変になりかけているんだらうと考えると、一つだけ、心当たりがあることがあります。それは、口をいつも開けているということが、どうして、口は、垂直には開かないので、口びるが、どうしても少し前に出てしまっている。なので、その積みかさねで、そうなってしまったのではないのかということ。そのせいで、口をとじることも、少しむずかしくなっていました。
その次に、どうしたら直せるかを考えました。まず第一に、口をとじることだと思いました。なぜなら、さっき書いたとおり、私の口が、いつも開いているからです。それに、ずっと開いているということは、おまけにべろが、前歯までおしてしまおうので、出っ歯になってしまいます。
このように、おかしいところに気が付いた時には、まず第一に、どうしてこうなってしまったかを考え、次に、直して、それをしゅうかんづけるということをするんだなと思いました。なので、これからも口の形をきれいにしていきたいなと思いました。

佐藤 悠さんの作文



あとがき
多歯言「第四十七号は
いかがでしたか。

これからだんだんと暑くな
なってまいります。
皆さま、体調を崩さない
ように、お気を付けくだ
さい。

これからも患者様からの
ご意見ご感想をお待ち
しております。

次回、第四十八号は
2020年11月8日の
発行予定です。
お楽しみに。

新聞委員

村尾 健斗
平野 哲章
山口 大路
高木 直子

